

画 像 生 成 AI

ビジネ

ス
活用術

5つの活用シーンと
具体的事例

1. 「画像生成AIとは？」 基本概念と手法 P.3
2. 画像生成AIが得意なこと・苦手なこと P.8
3. 画像生成AIを活用できるビジネスシーン P.12
4. 企業の活用事例 P.24
5. ビジネスシーンで活用できる画像生成AI P.29
6. 最後に P.34



01

「画像生成AIとは？」
基本概念と手法

「画像生成AIとは？」基本概念と手法

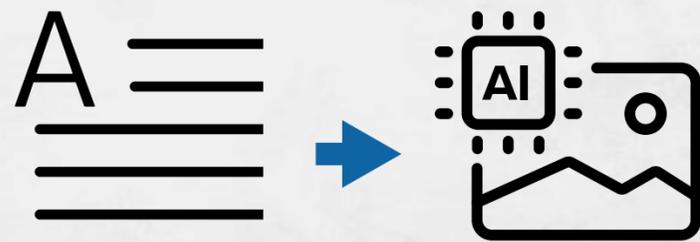
GENERATIVE AI 画像生成AIとは？ GENERATIVE AI

画像生成AIとは、大量の画像データを学習したAIが、テキストや画像などのユーザーの入力に基づいて新たな画像を生成する人工知能（AI）です。

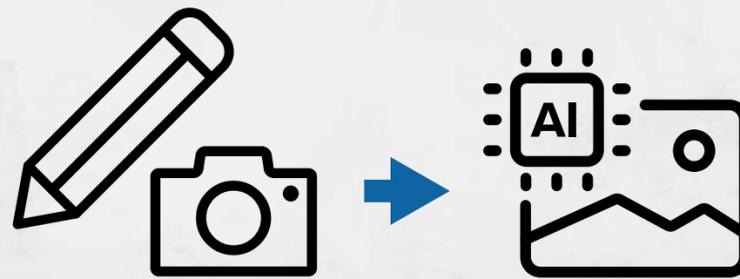
画像生成の手法

画像生成AIによる画像生成の手法は、大きく以下の3つに分類されます。

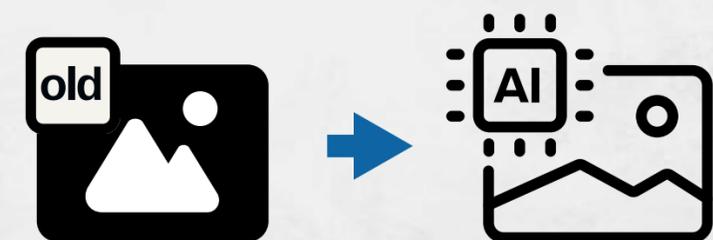
「テキストから」
画像を生成



「写真/スケッチを参考に」
画像を生成



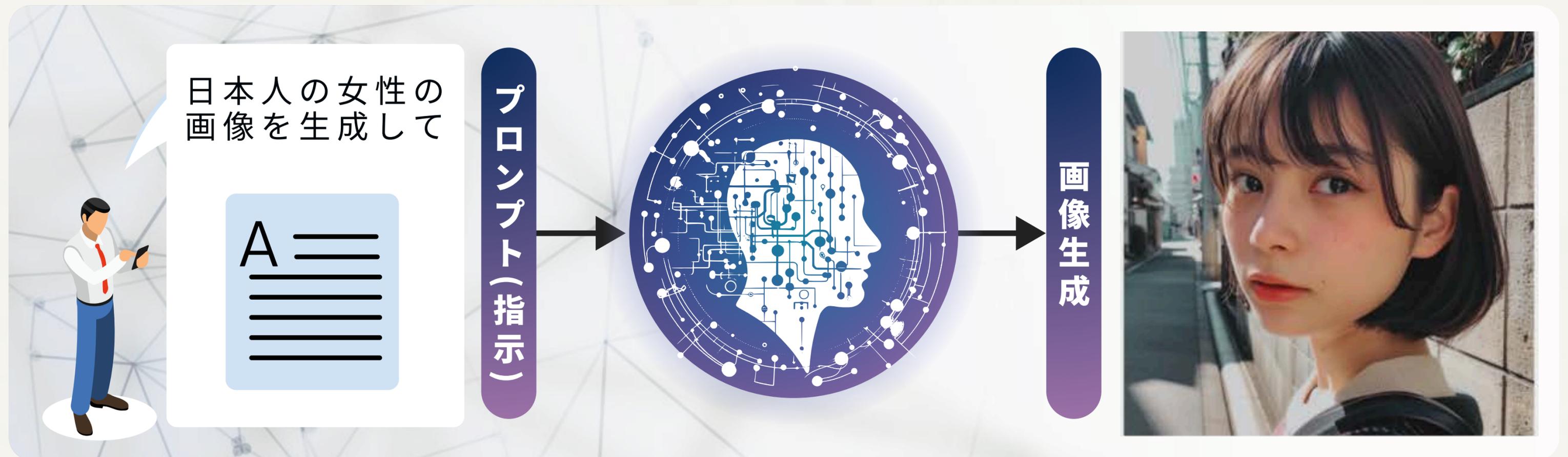
「既存画像の一部を加工し」
画像を生成



テキストから画像を生成

画像生成AIの中で、最も一般的なものは生成方法で、ユーザーが設定したプロンプト(命令文)に従ってAIが画像を生成します。

例えば、「夕暮れ時の静かな湖の風景」というプロンプトを入力すると、AIはその記述に基づいて、夕焼けの湖の画像を生成することができます。



写真やスケッチを参考に画像を生成

AIが既存の写真やスケッチを参考に、新しい画像を生成する方法です。
既存のビジュアルを元に新しい画像を創出するため、
具体的なイメージの再現に適しています。

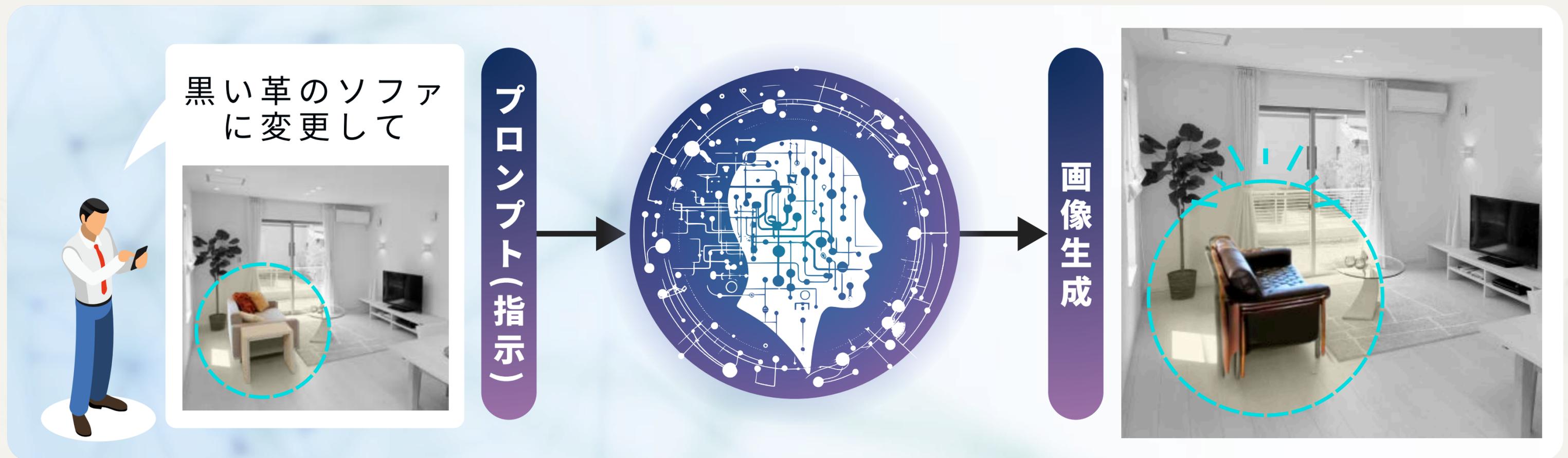
例えば、ある風景の写真を用いて、
異なる時間帯や季節のその場所の画像を作成することが可能です。



既存の画像の一部を加工

AIを活用して、既存の画像の一部を加工する方法です。
既存の画像の特定の部分を変更することで、
新たなデザインを具体化するのに適しています。

例えば、キャラクターの衣装や背景を変更して
新しいシーンを創出することが可能です。



02

画像生成AIが
「得意なこと」「苦手なこと」

画像生成AIが得意なこと・苦手なこと

画像生成AIをビジネスで利用する際には、
その **得意分野** と **限界** をしっかりと理解することが重要です。

得意なこと

- 大まかなイメージの画像を生成する
- 存在しない物の画像を生成する

例

- 広告ビジュアルの作成
- 存在しない人物の作成
- ゲームのキャラ作成
- 空飛ぶ車のイメージ画の作成

苦手なこと

- 理想通りの完璧な画像を生成する
- 実在するものを正確に反映する

例

- 機械の部品図や建築図の生成
- 詳細な製品写真の生成
- 実在する建造物の完全再現
- 技術部品の正確な3Dモデリング



画像生成AIが「得意」なこと

画像生成AIは、

抽象的なアイデアから具体的な画像を生成することが得意です。



広告やキャラクターデザイン、新製品のコンセプト視覚化などの
ビジネスシーンでの活用が可能です。

得意

広告ビジュアルの作成



得意

実在しない人物の作成



得意

新商品のイメージ画



画像生成AIが「苦手」なこと

画像生成AIは、

実在するものの再現や細部の完璧性を求められる画像の生成は苦手です。

技術図面の作成や特定人物の正確なポートレートなど、細かいディテールが求められる場面での使用は適していません。

苦手

実在するものを正確に反映する

東京駅の画像を生成すると…



雰囲気は似ているが細部が異なる

実際の写真



苦手

実在するものを正確に反映する

建築図を生成すると…



それっぽいが「全く使えない」もの

03

画像生成AIを活用できる
ビジネスシーン

画像生成AIを活用できるビジネスシーン

画像生成AIは、ビジュアルコンテンツを迅速に作成でき、マーケティングや商品開発、建築デザインなどの多様なビジネスシーンで効率化とクリエイティビティの向上に貢献します。



具体的には以下のようなシーンで高い効果を発揮します。

資料作成



広告の
クリエイティブ作成



商品開発



不動産/建築業界
パース作成



アパレル業界
デザイン作成



シーン1：資料作成における活用法

プロジェクトの提案段階で、画像生成AIを活用して具体的なビジュアルイメージを作成することができます。これにより、クライアントに対して提案内容を視覚的に伝えることができ理解を深め、承認を得やすくすることができます。

<ケース①提案内容のイメージ作成>



例) ウェディングケーキのデザイン提案

01 | ウェディングケーキのデザイン案



シンプルで洗練されたデザインが特徴のクラシックウェディングケーキ。ホワイトのアイシングに繊細なレース模様が施され、上品な花飾りがアクセントとなっています。どんなウェディングにもマッチするエレガントな一品です。

シーン2：広告のクリエイティブ作成

画像生成AIは、実在しない人物を作るのが得意です。
これにより作成した架空の人物画像を使った広告が可能。
撮影にかかるコスト(人件費/時間/手間)などを大幅に削減し
効率的に広告を打つことが可能になります。

<ケース①：実在しない人物の生成>

(AI生成画像を活用した広告例)

An advertisement for a recruitment seminar. It features a woman's face on the left and a man's face on the right. The text includes: 'クリエイティブ職 正社員 募集' (Creative Job Full-time Recruitment), '参加費無料' (Free participation fee), '経営戦略 実践セミナー' (Business Strategy Practical Seminar), '2030 03/23 13:00~14:30' (Date and time), and 'オンライン開催' (Online event).
An advertisement for a family photography session. It shows a woman in a blue floral kimono holding a young child. The text includes: '東京 近郊' (Tokyo, near suburbs), '七五三' (Shichi-go-san), '出張ロケーション撮影' (On-site location photography), and 'ご予約受付中' (Reservations accepted).

3児のママカメラマンが「自然な表情」を撮影します！

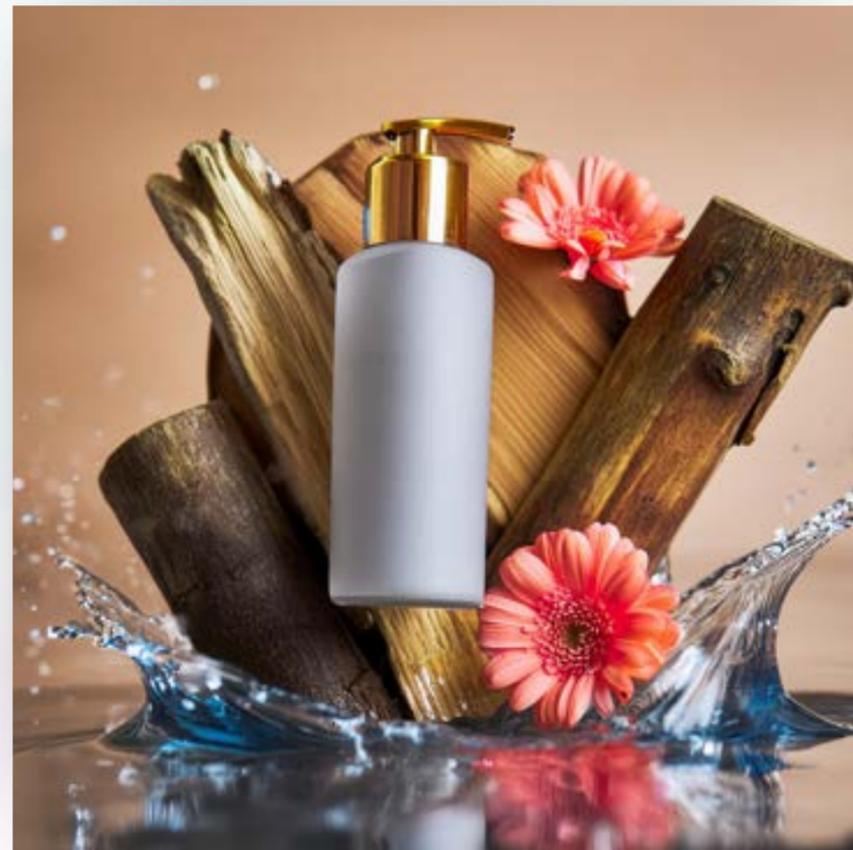
コスト削減や
スピーディな制作、
著作権問題を回避できるなど
様々なメリットがあります。



シーン2：広告のクリエイティブ作成

新商品のビジュアルを画像生成AIで生成することで、
製品のコンセプトを早期に視覚化し、
マーケティング資料や広告に使用できます。

<ケース②：新商品のビジュアルの生成>



シーン2：広告のクリエイティブ作成

商品画像の背景を画像生成AIで変えることができます。
商品をより魅力的に見せるための多様な背景を簡単に試すことができ、
撮影コストの削減が可能です。

<ケース③：商品画像の背景を変える>



背景パターンをすばやく生成し、
即座に試すことができるため、
アイデアの実験や調整が容易に。
最適なパターンを見つけるまでの
時間が短縮されます。

シーン3：商品開発における活用

画像生成AIはさまざまなテイストの画像を素早く出力できるため
新商品のパッケージデザイン案を素早く生成できます。
複数のデザインオプションを短時間で比較・検討でき
デザイン決定のプロセスを効率化することができます。

<コーヒー豆のパッケージ案>



シーン4：不動産・建築業界での活用

テキストで記述されたイメージを基に、
画像生成AIを使ってパース（立体図）を作成することができます。
これにより、デザインの初期段階で
視覚的なフィードバックを得ることが容易になります。

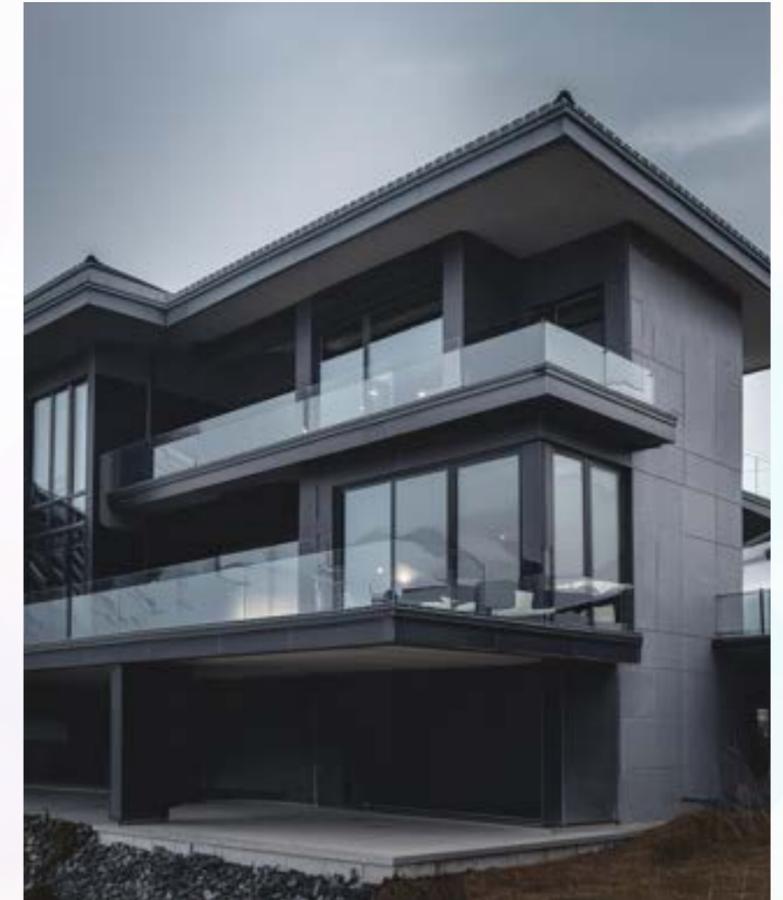
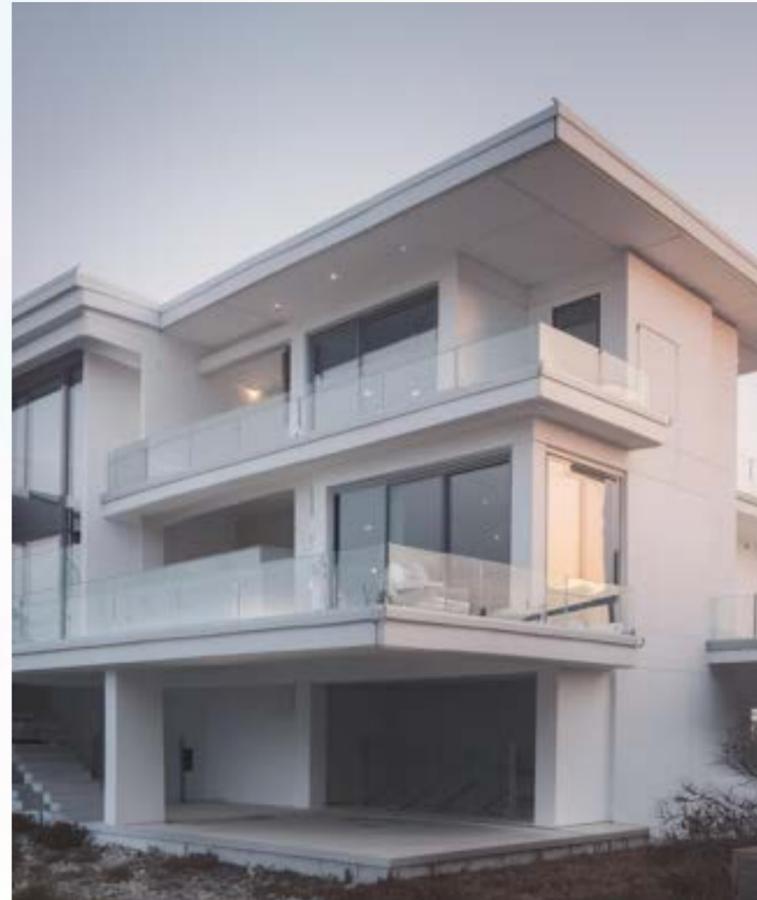
<ケース①：テキストからパースの作成>



シーン4：不動産・建築業界での活用

手書きのスケッチを画像生成AIに取り込み、
詳細なパースを作成することができます。
これにより、デザインのアイデアを迅速に具現化し、
関係者とのコミュニケーションをスムーズに行うことが可能です。

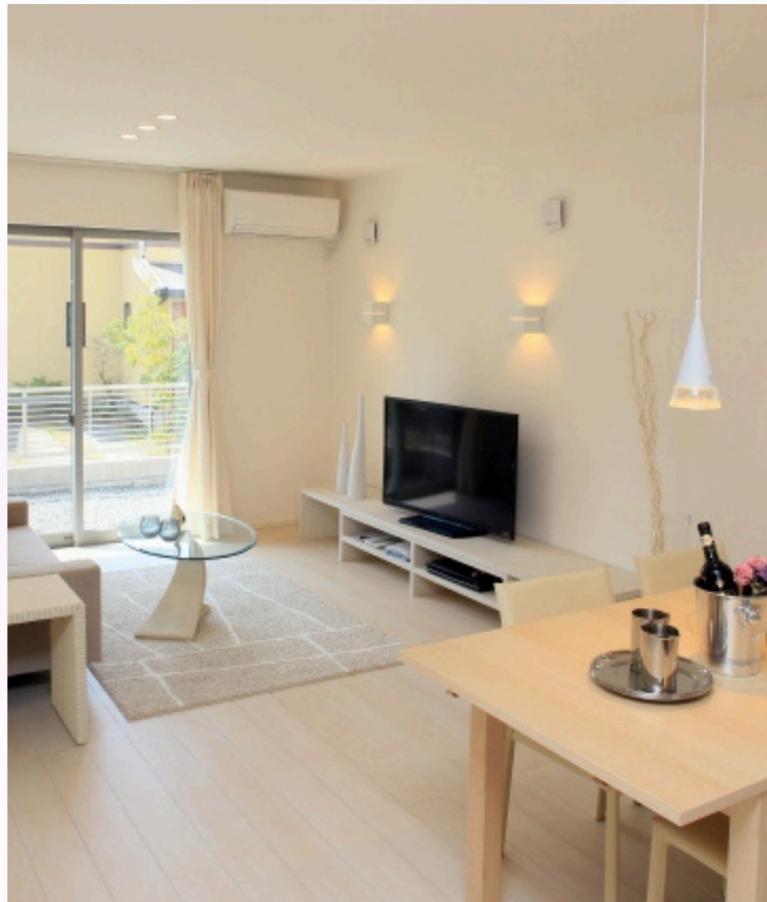
<ケース②：スケッチからパースの作成>



シーン4：不動産・建築業界での活用

画像生成AIを用いて、
既存の空間や建物のリフォーム（改修）案を視覚化することができます。
これにより、リフォーム後のイメージを事前に確認しやすくなり、
計画を立てやすくなります。

<ケース③：リフォーム案の作成>



シーン4：不動産・建築業界での活用

既存の部屋や空間の画像に対して、
画像生成AIを用いて家電や家具を変更することができます。
これにより、新しいインテリアやレイアウトを視覚的に試すことができ、
購入前の検討材料として利用できます。

<ケース④：家電・家具の変更>



⚠️ 実在するものを正確に反映することは2024年6月時点ではまだ難しいです ⚠️

シーン5：アパレル業界での活用法

画像生成AIは、多様なスタイルや色の組み合わせを試すことができるので、服のデザイン案を作成する際にも役立ちます。これにより、デザインのバリエーションを増やし、より魅力的な製品を開発することができます。

<ケース①：服のデザイン案の作成>

例) ワンピースのデザイン案



04

企業の活用実例

企業の活用事例①：商品パッケージ

パッケージデザイン用に改良した画像生成AIを活用して、
マンダムや伊藤園は自社製品のパッケージのデザイン開発を行っています。

『パッケージデザイン用生成AI』を活用したマンダム 「冷肌ミスト リフレッシュメント」が新発売

～AIでデザイン開発期間を半減～

株式会社プラグ

2024年3月18日 11時00分



株式会社プラグ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亮)のパッケージデザイン用に改良した生成AI『パッケージデザインAI』(以下、本AI)がデザイン開発で活用された株式会社マンダム(本社：大阪市、社長執行役員：西村健)の『マンダム 冷肌ミスト リフレッシュメント』が3月18日に発売されます。



引用①：PR TIMES. (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000042.000062916.html>)

業界初！『商品デザイン用画像生成AI』を活用したデザインで伊藤園「お〜いお茶 カテキン緑茶」リニューアル発売

～生成AIでクリエイティブの創造性を広げ、新しい価値を提供～

株式会社プラグ

2023年9月5日 13時10分



デザイン開発とマーケティング・リサーチを行う株式会社プラグ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亮)は、パッケージデザイン用に改良した『商品デザイン用の画像生成AI』を開発(以下、本AI)。この度、株式会社伊藤園(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：本庄大介)の『お〜いお茶 カテキン緑茶』のリニューアル発売(23年9月4日)に際し、本AIのパイロット版を活用いただき、デザインが開発されました。本サービスを使いデザインが発



引用②：PR TIMES. (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000037.000062916.html>)

企業の活用事例②：商品デザイン

Turing株式会社は、画像生成AI「Stable Diffusion」を活用して完全自動運転EVのコンセプトカーをデザインしました。それだけでなく、自社エンブレムのデザインプロセスにも画像生成AIを活用しています。

【世界初】自動運転EV開発のチューリング、画像生成AIでデザインした「完全自動運転EV」コンセプトカー公開 エンブレムにも生成系AIを活用

2023年3月16日 By ロボスタ編集部

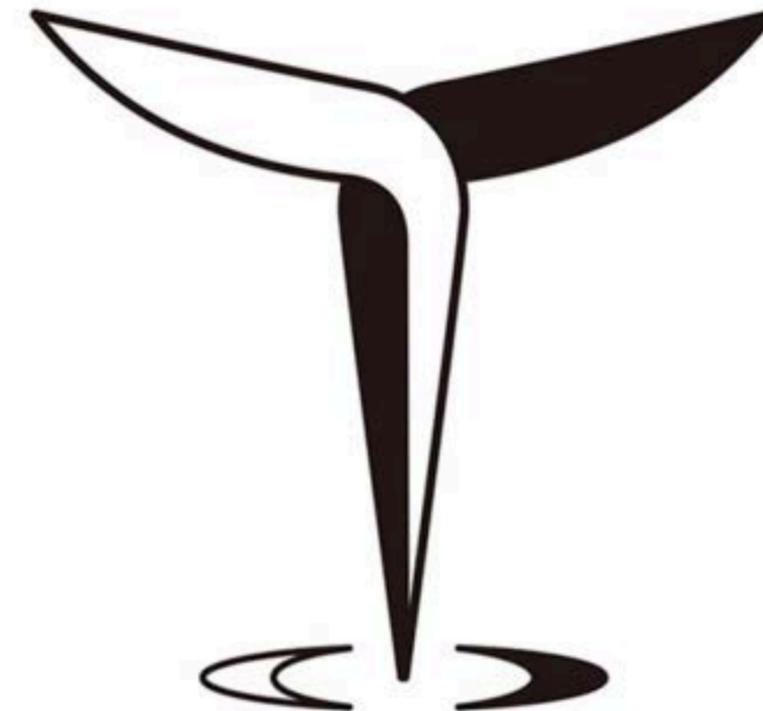


シェア 8 ツイート 0 はてブ 1

千葉県柏市で、完全自動運転車両の開発・販売に取り組むTuring株式会社は、画像生成AI「Stable Diffusion」をフル活用してデザインした「完全自動運転EV」のコンセプトカーを公開した。

自社エンブレムのデザインや工場名の立案にも生成系AIを活用

チューリングではこの他にも、THE FIRST TURING CAR に搭載した自社エンブレムのデザインプロセスにも「Stable Diffusion」を活用。初の自社工場となる「Turing Kashiwa Nova Factory」のネーミングにChatGPTを活用するなど、業務の多くの分野でAIを活用し、「AIネイティブ」な事業推進を行っている。



引用: ロボスタ. (<https://robotstart.info/2023/03/16/turing-kashiwa-nova.html>)

企業の活用事例③：AIモデル

パルコ、ファッションセンターしまむら、三越伊勢丹はそれぞれ画像生成AIを使って作成したAIモデルを広告やPRに活用し、顧客の興味を引くことに成功しています。

パルコも“AIモデル”起用、ファッション広告に「AIと分かった時の驚きを追求した」

2023年11月01日 10時58分公開

[ITmedia]



PR 日立、生成AIのプロが登場 イベントレポートで見る「生成AI活用の勘所」は

パルコは、実際のモデル撮影は行わず、生成AIを駆使して制作したファッション広告を公開した。ホリデーシーズンのキャンペーンに活用する。



パルコ初の生成AI広告「HAPPY HOLIDAYSキャンペーン」

ITmedia News.

(<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2311/01/news093.html>)

ファッションセンターしまむらからAIモデル「瑠菜（るな）」がデビュー！

株式会社しまむら 2024年6月5日 13時10分



株式会社しまむら（本社所在地：埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-602-1、代表取締役：鈴木 誠）は、タキヨー株式会社（本社所在地：名古屋市中区、代表取締役 社長執行役員：滝 一夫）およびAI model株式会社（本社所在地：東京都港区）との3社プロジェクトとして、ファッションセンターしまむらの販促にAIモデル「瑠菜（るな）」を起用したことをお知らせします。

■AIモデルの起用について

AIモデルを起用することで従来よりもスピード感のある販促を実現し、10代～20代のファン層拡大に繋げることを目的としています。若年層に親しみやすいビジュアルとし、SNSを中心に情報を発信していきます。

■プロフィール

名前：「瑠菜（るな）」
年齢：20歳
職業：服飾専門学生
家族構成：父・母・姉
将来の夢：ファッションモデル
特技：可愛いものを見つけること
趣味：家族にコーディネートを披露すること



PR TIMES.

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000170.000066095.html>)

「ISETAN STUDIO」AIモデル撮影サービス、「三越伊勢丹オンラインストア」専用AIモデルの提供をスタート

株式会社 三越伊勢丹ホールディングス

2024年2月5日 13時00分



株式会社三越伊勢丹（本社：東京都新宿区、以下三越伊勢丹）が運営する「ISETAN STUDIO」は、AI model株式会社（本社：東京都渋谷区、以下AI model社）と協業し、三越伊勢丹ECサイト「三越伊勢丹オンラインストア」専用のAIモデルの提供をスタートいたします。〈リ・スタイル〉、〈プライムガーデン〉、〈クローバーショップ〉において専用のAIモデルを生成し、2024年3月上旬より実装。これにより、BtoBビジネスを通じ顧客接点を創造し、新たなビジネスの展開拡大に取り組むとともに、導入効果としてCTR（クリック率）、売上、離脱率などの実証実験を実施いたします。



PR TIMES.

(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000002676.000008372.html>)

企業の活用事例④：ゲーム開発

ゲーム会社のレベルファイブは、画像生成AI「Stable Diffusion」をゲーム開発やプロモーションに活用しています。

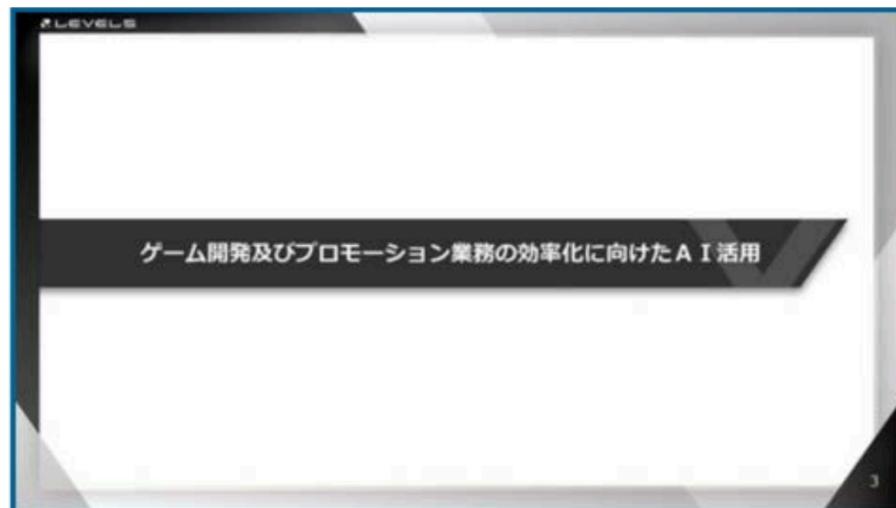
例えば、「メガトン級ムサシW」のタイトル画面のレイアウト案や「妖怪ウォッチ」の3Dモデルのイメージ画像をAIで生成しています

「イナズマイレブン」「妖怪ウォッチ」で画像生成AIを活用 レベルファイブのAI利用例が公開に

2023年12月12日 19時15分 公開

[松浦立樹, ITmedia]

「イナズマイレブン」「レイトン教授」シリーズなどで知られるゲーム会社・レベルファイブが、ゲーム開発やプロモーション業務で生成AIを活用していることが分かった。政府が12月11日に開催した「AI時代の知的財産権検討会」に同社が提出した資料から判明した。資料では、生成AIの活用例を複数紹介している。



同社は画像生成AI「Stable Diffusion」を活用しているという。例えば、24年に発売予定のゲーム「メガトン級ムサシW」では、タイトル画面のレイアウト案をAIで複数生成し、それを参考に世界観に合ったイラストを作成し、イラストをベースに映像を作成し、タイトル画面に使うとしている。



「メガトン級ムサシW」ではタイトル画面に活用

「妖怪ウォッチ」シリーズの例では、主人公・天野景太の3Dモデルのイメージ画像を作成する際の例を紹介。過去の作品で使った画像をAIに複数学習させ、さまざまな質感の画像を出力。目指す雰囲気を与えるのに使ったという。また、「イナズマイレブン」シリーズでは、大観衆や建物群の背景素材をAIで作成。キャラクターのイラストと合成して、イメージイラストを作った。

引用: PRTIMES. (<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2312/12/news175.html>)

05

ビジネスシーンで活用できる
画像生成AI

ビジネスシーンで活用できる画像生成AI

ここからは、ビジネスシーンで特に活用しやすい

3つの画像生成AIツール

の特徴について解説します。

それぞれのツールには独自の特徴があり、用途に応じて最適なツールを選ぶことで、最大限に引き出すことができます。

Stable Diffusion

特徴

高いカスタマイズ性

ユーザーが細部までカスタマイズでき独自のスタイルやブランドに合わせた画像生成が可能。

Midjourney

特徴

画像のクオリティの高さ

最新技術を活用して高品質な画像を生成。特に写真のようにリアルな画像が求められるプロジェクトに最適。

Adobe Firefly

特徴

法的リスクの回避

著作権や知的財産権を守るためのトレーニングデータを使用しており商用利用でも法的リスクを回避できる。

Stable Diffusion

Stable Diffusionは、

Stability AIが開発したオープンソースの画像生成AIです。

オープンソースということから多くの画像生成AIツールで利用されています。

ビジネスおすすめ度	★ ★ ★ ★ ☆
使いやすさ	★ ★ ☆ ☆ ☆
生成画像の質	★ ★ ★ ★ ☆
カスタマイズ性	★ ★ ★ ★ ★
法的安全性	★ ★ ☆ ☆ ☆

Stable Diffusionの特徴

Stable Diffusionの最大の特徴は、オープンソースであることです。

無料で利用可能なため、初期投資を抑えつつ、高品質な画像生成が可能です。これにより、小規模な企業でもリソースを有効活用し、クリエイティブなプロジェクトを進めることができます。

また、カスタマイズ性が高く、自社のニーズに合わせて調整が可能です。さらに、生成画像の解像度が高く、多様な業界での利用が期待されます。

ただし、オープンソースであるため、誰でも自由に利用できる一方で、技術的な知識が求められることが多いです。



Stable Diffusionで生成された画像

Midjourney

Midjourney(ミッドジャーニー)は、
チャットアプリのDiscord上で利用できる画像生成AIで、
その高いクオリティの画像が人気を集めています。

ビジネスおすすめ度	★★★★☆
使いやすさ	★★★☆☆
生成画像の質	★★★★★
カスタマイズ性	★★★★☆
法的安全性	★★☆☆☆

Midjourneyの特徴

Midjourneyの最大の特徴は、生成される画像のクオリティの高さです
特に最新バージョンの「V6」では、写真と見間違えるほどのリアルで詳細な画像を生成することができます。
この高品質な画像生成は、マーケティングや広告キャンペーンなどのビジネス用途において大きなメリットとなります。

さらに、アニメ風の画像も生成可能で、ターゲット層に応じた多様なビジュアルを迅速に作成できます。



Midjourneyで生成された画像

Adobe Firefly

「Adobe Firefly」は、
クリエイター向けツールのPhotoshopやIllustratorで有名なAdobeによって
開発された画像生成AIツールです。

ビジネスおすすめ度	★★★★★
使いやすさ	★★★★☆
生成画像の質	★★★☆☆
カスタマイズ性	★★★☆☆
法的安全性	★★★★★

Adobe Fireflyの特徴

Adobe Fireflyの最大の特徴は、著作権侵害リスクの低さです

Adobe Fireflyは数百万点に及ぶAdobe Stockの画像や、著作権が消滅したコンテンツをトレーニングデータとして使用しているため、生成される画像は著作権侵害のリスクを大幅に低減しています。

また、既存の画像の一部を生成AIで編集したり、背景を拡大することも可能です。例えば、生成塗りつぶし機能を使用することで、既存の画像の服装のみを自然に変更することができます。

さらに、日本語でのプロンプト入力にも対応しているため、初心者でも簡単に高品質な画像を生成することができます。



Adobe Fireflyで生成された画像



06

最後に

最後に

ここまで読んでいただきありがとうございます。
画像生成AIのビジネス活用のイメージはついたのでしょ...

ただ、中には活用してみたいと思ったけれど、
自分では難しいと感じたり、イメージは湧いたものの、
自分の仕事にどう生かせば良いのかわからないと感じている方もいるかもしれません。



業務効率化のために使いたいが、
具体的な使い方がわからない



画像生成AIに関する
ビジネスを始めたいが
相談できる相手がいない...



画像生成AIを使ってみたが、
理想の画像を作るのが難しい...

最後に

無料のオンライン相談会実施中!!

(2024年6月現在)

当社は月間30万PV以上の生成AI専門メディア「Ainova」を運営

Ainova

どこよりもわかりやすい生成AI専門情報メディア

サイト内では毎月**100万**枚以上の画像が生成される画像生成AIツールも提供しています。

そのため、画像生成AIについての最新情報のキャッチアップはもちろん
AIを使って理想の画像を生成するコツや
画像生成AIツールの開発についても豊富な知識と経験を持っています。



最後に

無料のオンライン相談会実施中!!

(2024年6月現在)

具体的なイメージがなくても構いません。
ぜひこの機会にご相談ください。

あなたのビジネスに最適な画像生成AIの活用方法を
一緒に見つけましょう！
ご応募お待ちしております。

[無料で相談をする](#)

↑ここをクリック↑



会社概要

社名

株式会社セントラルオフィス

設立年月日

2021年11月2日

本社所在地

東京都台東区上野 6丁目 1 番6-1005号

事業内容

- ・生成AIメディア「Ainova」の運営
- ・データ分析支援
- ・コンサルティングサービス提供

月間30万PVの生成AI専門メディア
「Ainova」

